

令和6年度学校評価について

学校教育目標『夢や希望をもち 心豊かで たくましい児童の育成』 ～かしこく・やさしく・たくましく～
 1 かしこく 自ら進んで学習する子 2 やさしく 思いやりの心をもって協力し合う子
 3 たくましく 健康安全に気をつけ元気に運動する子

1 評価について

(1) 評価項目

- ①児童へは、生活面、学習面、社会性、自己の内面に関する項目を設定しました。
 ②保護者、教職員へは、学校運営や組織に関する項目を加えて設定しました。
 ③上記の項目について、児童・保護者・教職員の意識がどうなっているのかを比較できる構成としています。

※昨年度との比較ができるよう、() に昨年度数値を記載しました。

- ④評価項目の文言は、評価対象者ごとに多少の違いがあります。

(児童は自分自身のこと、保護者は児童の様子、教職員は児童や保護者に対する働きかけを回答しています。)

(2) 評価区分

- ①すべての対象者に対して、肯定的か否定的かを判断するため、4段階区分となっています。

(A…よくあてはまる B…あてはまる C…あまりあてはまらない D 全くあてはまらない)

- ②各設問とも、保護者に関しては「わからない」という選択肢を設定しています。

※ただし、割合からは除外しています。

※児童については、「どちらともいえない」という選択肢をなくし、肯定的か否定的かの判断を行いました。

2 学校評価結果 ※ () は昨年度数値 5point 以上 向上△ 下降▼

No.	項目	評価項目	児童	保護者	教職員
		(学年・クラスを選択) 回答率	87(91)	▼66(72)	100(100)
1	生活面	学校へ来るのを楽しみにしている。(児童) 学校生活は充実しているためになっていると思いますか。 (保護者、教職員)	87(84)	83(82)	100(100)
2		周りの人によくあいさつをすることができていると思いますか。	81(85)	72(72)	△84(75)
3		運動が好きで、体力向上に努めていると思いますか。	78(78)	78(77)	△100(88)
4		好き嫌いをしないで規則正しくきちんと食事をしていると思いますか。	85(83)	70(70)	△68(58)
5	学習面	進んで学習し、学んだことが身についていると思いますか。	85(83)	70(69)	84(83)
6		英語(外国語)活動では、楽しく学習に取り組んでいると思いますか。	△93(87)	△80(75)	△84(70)
7		読書活動やドリルタイム・宿題にきちんと取り組んでいると思いますか。	95(94)	62(59)	92(91)
8	社会性	周りの人のことを考え、友達と仲良く生活できるよう働きかけをしていると思いますか。	96(96)	94(95)	100(96)
9		社会のルールや学校のルールを守っていると思いますか。	94(90)	96(95)	100(96)
10		交通安全に気をつけて登下校していると思いますか。	98(95)	95(96)	92(88)

11	自己の内面	自分には良いところ、得意なところがあると思っていますか。	△85(77)	94(91)	92(96)
12		人の役に立つための行動を進んでいると思いますか。	88(88)	90(91)	92(92)
13		何事に対しても粘り強く取り組むことができると と思いますか。	89(88)	66(64)	▼92(100)
14	学校運営や組織に関する事	豊かな心を育むために、積極的に道徳教育に取り組んでいますか。		94(90)	△92(84)
15		児童たち一人一人の様子に目を配り、いじめのない 仲間づくりに取り組んでいますか。		△92(87)	100(96)
16		学校は、特別に支援の必要な児童へ、適切に支援を 行っていると思いますか。		91(87)	△92(84)
17		学校は、緊急時にどのような対応をするか保護者に わかりやすく説明していると思いますか。		93(90)	▼84(100)
18		学校は、児童の基礎学力の定着を図り、わかりやすい授業を行うよう研修を進めている。		△97(92)	88(92)
19		学校は、施設・設備の整備を行い、安全な環境を保つ努力をしていると思いますか。		97(95)	▼84(100)
20		学校は、教育活動に保護者や地域の人材を活用して いると思いますか。		95(94)	84(88)
21		学校は、生徒指導や教育相談、保護者対応等に対し、組織的に対応できていると思いますか。			88(92)
22		学校は、職員共通理解のもと、学校教育目標の具現化に向けて努力していると思いますか。			▼88(96)

3 全体の考察

児童については、全体的に肯定的な回答が多かったです。中でも「英語（外国語）活動では、楽しく学習に取り組んでいると思いますか」の評価が6ポイント、「自分には良いところ、得意なところがあると思いますか」の評価が8ポイント上がっています。今年度の児童評価では5ポイント以上上がっている項目は無かったですが、「周りの人によくあいさつをすることができていると思いますか」の評価が4ポイント下がっていました。

保護者については、「英語（外国語）活動では、楽しく学習に取り組んでいると思いますか」の評価と「児童たち一人一人の様子に目を配り、いじめのない 仲間づくりに取り組んでいますか」「学校は、児童の基礎学力の定着を図り、わかりやすい授業を行うよう研修を進めている」の評価で5ポイント上がっています。しかし、「回答率」が6ポイント下がっています。

教職員については、「あいさつに関する評価」「体力向上に関する評価」「食事に関する評価」「英語活動に関する評価」大きく上がっています。また「道徳教育の評価」「特別支援に関する評価」も上がっています。しかし、「粘り強く取り組むことができる」「緊急時の対応について保護者周知に関する評価」「施設・設備に関する評価」が下がっています。

4 各項目の考察

（1）生活面

「学校へ来るのを楽しみにしていると思いますか。」（児童）「学校生活は充実していてためになっていると思いますか」（保護者、教職員）この設問に関しては、肯定的な回答が教職員100%、保護者83%、児童87%となっています。教職員に関しては、全ての職員が、子どもたちが学校へ登校してくることを楽しみにしてもらえる工夫を日々行っているからこそその結果だと考えます。児童に関しては、高学年になるにつれて、行きにくさを感じることが多く、アンケートを取ったときの気持ちが大きく係わってくることも考えられます。今後児童に関して、どういったことが否定につながっているか、学級・学年ごとに更に児童の実態を把握して改善していきます。教職員による「あいさつについての評価」と「体力向上についての評価」「食事に関する評価」が上がっており、職員一人一人の意識が更に高まってきていると考えます。しかし、児童による「あいさつについての評価」が昨年度より4ポイント下がっていることから、子どもたちのあいさつに対する意識を高めることができる取り組みを再度工夫していきます。

（2）学習面

「進んで学習し、学んだことが身についていると思いますか」に関しては、児童、保護者、教職員全ての評価が昨年度よりも若干上がっています。引き続き授業の充実を図ると共に、ICTを有効活用し、児童が面白いと思えるよう更に努力していきます。

「英語(外国語)活動では、楽しく学習に取り組んでいますか」に関しては、児童、保護者、教職員全ての評価が昨年度よりも大きく上がっています。これは、今年度週3日英語専科の職員、週2日外国語指導助手を配置していることにより、今まで以上に専門的な授業を展開することができていることがあげられます。児童が英語活動を楽しんでいると感じ、その話題を家庭で広げたことで、保護者の評価にも

繋がったのだと考えます。引き続き、研修を進め、児童の実態に合った指導を行い、より充実した授業を行っていきます。

「読書活動やドリルタイム・宿題にきちんと取り組んでいますか」に関しては、児童、保護者、教職員の評価は昨年度と比べると若干上がっています。まだまだタブレットの活用方法にも工夫改善できることがあると思いますので、引き続き検討していきます。

(3) 社会性

これらの設問に関しては、三者とも概ね高い評価でした。登下校及び、帰宅後の自転車の乗り方等の指導に関して、今後とも継続して適切な指導を行っていきたいと考えます。

(4) 自己の内面

児童の評価は、「自己肯定感」に関しては、昨年度よりも評価が大きく上がっており、基準の85%までできました。今後とも「やればできる」を合い言葉に、意欲的に挑戦する活動を増やし、振り返りで成長を実感させたり、教職員からの称賛の機会を増やしたりすることで、学校生活の様々な場面で、子どもたちの意識が伸長するよう指導支援していきたいと考えます。

しかし、「粘り強さ」に関しては、児童、保護者の評価は昨年度と変わらずですが、職員の評価が少し下がっております。これは、期待が大きいことが考えられます。学校では、今後とも、「自己の内面」をしっかりと見つめ、社会で活躍すべく「人格の形成」を目指して教育活動を展開していきます。

(5) 学校運営や組織に関すること

この設問は、保護者、教職員に対して行ったものです。保護者からの評価は、全て肯定的な回答でした。これは学校運営全般に関して「良好な状態」であると考えられます。その中で保護者評価が昨年度より上がったのが、「児童一人一人の様子に目を配り、いじめのない仲間づくりに取り組んでいますか」でした。これは本校のいじめ防止に対する取組が保護者にも広く周知できてきたことからだと考えます。今後とも本校の取組を保護者、地域に知っていただき、協働した学校運営を行っていきたいと考えます。

5 保護者からの意見・要望等（抜粋）

◆運動会について

- ・運動会が学年ごとに分かれて短時間で行うことがとても良かった。自分の子供に集中して見れるし、校庭の広さを考えても全学年の保護者が入るには狭いと思いました。引き続き学年ごとに開催して欲しいと思いました。
- ・運動会のダンスの時の並びが整列だと、中間の身長の子は全く見えないから、人数が少ないのだから、校庭のトラックに沿って円になって外側を向いて踊って欲しいし、その方が保護者が分散されて見やすくなると思います。
- ・運動会は物凄い暑い日が多く、子供達がぐったりしているから、全生徒用にテントを用意して欲しい。(他校はやっています。)
- ・今年の運動会は近年のなかで、最高によかった。こどもにも保護者にも配慮がされていて良かった。もし、人員が足りないならば、保護者ボランティアを募り、救護は養護教諭と有資格者に、裏方の一部もボランティアをお願いして、みんなでつくる運動会にしたらいと思う。協力保護者にはカメラマンからの子どもの写真プレゼントとか付加価値つければ参加してくると思う。

◆PTAについて

- ・PTA 廃止希望。共働きやワンオペ育児、まだ小児がいる家庭など負担が大きい等もある中での PTA 参加は難しいです。勿論子供達の安全の為にある事とわかるのでありがたいですが当番制にする等色々案はあると思います。委託という形も検討してほしいです。勿論 PTA 会費は支払いますが PTA も強制加入ではないはずが強制になっている面もある為。

◆学習指導について

- ・ナシ園に行ったり、公園に関する話を聞いたり、消防団が来てくれたり、お店を見学したりと、地域とつながりながら学ぶ機会があつてとてもありがたいなと思いました。給食献立表の産地が見やすく、四街道市の食材が出る時は家で話したりしているので、重宝しています。
- ・体調不良で休んだ後の宿題がまとめてでるので、日々の宿題に追加で行うのが子どもにとってストレスになってしまうことがあります。日々の宿題に数日に分けて少しずつ追加して頂けると助かります。
- ・今の貨幣価値、経済、政治が理解できるような社会の授業を行なってください。

◆学校運営について

- ・行事を以前より、寂しくない程度に精選していただいたおかげで保護者の負担が減っていいと思います。
- ・いつもよく見てくださり、ありがとうございます。先生やお友達が大好きで、毎日楽しく通っています。
- ・クラス替えは毎年ではなく、せめて2年おきにして欲しい。毎年だと団結力が出ないと思います。
- ・親子で参加できる行事をもう少し多く企画していただけると嬉しいです。そうすれば「子供が学校でどのように過ごしているか」や「お友達との関わり方」が今よりもよく見えると思います。
- ・学校行事や校外学習など、写真の販売をしていただけるような機会が増え、嬉しく思います。今後も、親子共々宜しくお願いします。
- ・運動会など、行事で業者のカメラマンさんが入ってくれるのは大歓迎なのですが、その場合、事前にお知らせして欲しいです。
- ・近隣のスーパーに見学に行ったり、記憶に残る授業に取り組んでくれたりと感謝しています。家で楽しそうに報告してくれます。
- ・細かい子どもの変化や子ども同士のトラブル等親身になって対応していただいています。安心してお任せしております。

◆周知方法・メール配信・ホームページについて

- ・毎月の学年だよりには、持ち物などの一番大事な情報がのっているから、マチコミではなく紙での配布に戻して欲しい。マチコミでは忘れてしまいます。
- ・子どもの話だけでは、学校での様子があまりわからないので、情報共有できる機会や方法が増えると嬉しいです。

◆要望・苦情

- ・保護者の意見も取り入れながら、柔軟に適切に、対応していただいていると思います。
- ・学校も勉強もめんどくさいと言う1年生です。「将来に役立つ基礎を身につけている」「大人になっても必要な知識」と本人にも認識してもらえるような環境の提供をしていただければと思います。(親からも伝えていきます)
- ・心配事の多かった息子ですが、四和小に入学し、気持ちの良い挨拶をすること、好き嫌いなく食べること、宿題などを毎日自分から進んでやること、苦手なことでも頑張ろうとすることが、年々できるようになって来ているように思います。これもひとえに四和小学校の先生方のおかげです。ご迷惑をおかけしておりますが、これからもよろしくお願いいたします。
- ・一年生の頃に比べると、かなりだらけて来て、宿題も適当に済ませるようになってしまいました。もっと厳しく声がけしてもらってもいいと思います。忘れ物、宿題、時間を守るなど、生活の基本となることをしっかり厳しく指導してもらいたいです。
- ・親参加型の授業参観に賛同しかねます。あくまで参観なのであって、参加型にすべきではないと思います。もし、参加型にするのなら、事前に行けるかどうかの確認が各家庭必要かと思ひます。低学年なのでほとんどの親が来ていましたが、来られない方もいると思います。その時の子への配慮も考えた授業内容にすべきです。
- ・先生が口にする言い回しによって、子どもが傷ついたりすることがあります。不快な経験は必要ですが、皮肉な言い回しは気を付けてほしい。
- ・授業参観が、4月にやって次は11月なので、間が空きすぎなので、その間にもう一度やって欲しい。
- ・いつもお忙しい中、子どもたちのために御尽力いただき大変感謝しております。先生方のワークバランスに配慮されるような制度に期待します。
- ・お忙しい中、担任の先生には、子どものいいところや改善点などもしっかりと見て下さっていて、感謝しております。学校が楽しいと登校する姿が何より嬉しいです。
- ・発達特性のある生徒の早期発見と早期支援につなげる仕組みをつくる必要があると感じている。
- ・いつもありがとうございます。どの先生も、それぞれの先生らしさを活かしながら、子ども主体で運営出来るよう願ひます。学校が、子どもたちにとってはもちろん、先生方にとっても、楽しく過ごしやすい場でありますように。
- ・通学路について、市内は車の通りが多く危ない箇所が大変多いので、各家庭に呼びかけるだけでなく事故が多い所に防犯カメラの設置やボランティアやシルバー人材等を配置するなど学校あるいは行政主導でもう少し踏み込んで欲しい。

◆ルール・きまりについて

- ・学校で交通ルールと自転車の乗り方を指導して欲しい。ニュースで悲しい事件があると不安になるので学校でも指導して欲しい。

6 学校評議員等からの意見・要望等

- ・過去の震災を教訓に、安全意識を高めてほしい。訓練も訓練だけにならないように色々なことを想定したものにする必要がある。地域とも連携をして危機管理意識を更に高めていけると良い。
- ・保護者の我が子に対する期待値が高いように感じる。各家庭で教育に対する考え方が違っているように感じる。子どもたちはどんなことでも一生懸命やっている。
- ・タブレット等のICT機器導入により、子どもたちの「書く力」が衰えてきてしまうのではないかと心配している。ICT機器等の操作や活用もこれからの時代では大切なことだと思うが、「書く力」も併せて指導し続けてほしい。
- ・職員の評価数値が低いことは、それだけ自分自身に厳しく目標設定をしているからこそだと考えられる。これは悪いことではない。先生方なら当然のことだと思う。昔も今も先生とはそういうもので、だからこそ子どもたちは大きく成長できると思う。
- ・登下校の見守りを行っている中で、子どもたちが車に先を譲ろうとする態度が立派である。しかしながら優先は歩行者なのでその辺の考え方が難しい。
- ・子どもたちの挨拶で元気をもらっている。外国籍の保護者が朝から見守りボランティアをしてくれていて、積極的に子どもたちに挨拶をしている。とても嬉しいことだ。
- ・以前は通学路にある「止まれ」の場所でも止まらない車が多かったが、今はマナーの良いドライバーさんが増えてきて良かった。
- ・子どもたちが「読み聞かせ」を楽しみにしてくれていることがとても嬉しい。こういう機会をもらえて良かった。
- ・授業参観日での「読み聞かせ」の時間を取ってもらえて嬉しかった。できたら、感想は後日手紙ではなく、その場で子どもたちの生の声を聞きたい。
- ・地域の「子ども会」が縮小や減少してきていることが心配である。色々な学校行事と連携させてもらって、引き続き会員を募集していきたい。